

団体アンケートとりまとめ

	問4 第5次三郷市総合計画後期基本計画や市政について、3で選択した内容に関連するご意見をご記載願います。
1	1. 災害への備えについて 年2回の防災訓練を実施しているが、過去の訓練内容では実際に活用するには乏しいものであり、今年度地震を想定した合同防災訓練の実施を計画している。今後も徐々に内容や参加人数を拡充し、実際の震災状況に則った訓練になるよう行政からの支援をいただきたい。 2. 交通安全・防犯について 都市計画道路三郷流山線工事の関係で、第二大場川に架かる橋が2024年10月に撤去され、街灯が全くない非常に危険な道となっていたことから、仮設の街灯設置のご対応をしていただき、その後本設街灯の設置に向け準備中と伺っている。仮設の街灯については十分な数と明るさとは言えない状態のため、道路の安全確保のため、十分な対応をお願いしたい。
2	現在、関東大震災のような大規模災害が訪れた際に、市民の皆様に必要な自助と共助の考え方がまだまだ浸透していないように感じております。 また、災害時のライフラインとして現代で特に重要となるスマートフォンを充電するための大型バッテリー等を市で確保していると安心感もあるかと思います。大型バッテリーなどは●●●の知り合いの会社等から提供いただくこともできるかと考えておりますので、是非ご相談くださいませ。 また、子どもたちの学習におきましては、さいたま市で実践されているグローバルスタディのような取り組みにより、英語が日常的に話せるようになる子どもたちが増えるのではないかと考えております。 まだまだ他にも課題は多いかと存じますが、当会も三郷市の更なる飛躍のために尽力出来ればと考えております。 どうぞよろしくお願いいたします。
3	弊社では地域の防災力アップに少しでも貢献出来るよう、活動しております。地域の防災力アップに関する取組等ございましたら、是非ご教示いただきたいと存じております。 ※参考 自主防災機関に対し「ヒントミーティング」を開催させて頂いております。全国の自主防災機関の取組みや、弊社防災士による講義なども無償で実施しております。
4	お世話になっております。日頃の行き届いた住民サービスに感謝申し上げます。さて下記の二件につきまして私の考えを述べさせていただきます。 先ず一件目は、保育施設の件です。 広報みさとを見てみると世帯数は増加傾向にあるにも関わらず人口は横這い状態が続いています。これは高齢者住宅への入居者を含む単独者世帯が比較的多く流入している事を表していると思われます。 つまり通勤や移動に便利だが子育て世帯には住み辛いのではないのでしょうか。その一例が保育施設の不足です。保育士が数人の園児をつれて公園に連れていく姿をよく見かけます。これは園庭がなかったり、小さい庭しかない小規模の保育施設に預けられた子供達を遊ばせるためだと思います。三郷市には共働き世帯の子供達を遅くまで安心して預かってもらえる保育施設が少ないのではないのでしょうか。保育施設の充実が望まれます。 二件目といたしましては、道路環境です。 駅周辺の主要道路は歩車分離になっていますが、多くの都市計画道路は道幅が狭く歩道が整備されていない箇所が多く見られます。免許証を返納し自転車での移動が日常の私共高齢者は買い物は危険と隣り合わせです。 インフラ施設の中ではよく行く三郷郵便局前の道路ですが、建物の前は歩道が整備されているのですが、その反対側には歩道がありません。またその先の中川に至る道には歩道の様な物が有るものの幅が数十cmしかなく、人がすれ違うのに車道に一人が出なければならぬ場所があります。三郷市内にはこの様な箇所が数多く存在します。道路の拡幅と歩道の整備が急務です。
5	・市の施設で、ご高齢の方が無料で利用できる施設が多いと思う。 子供を持つ親御さんが利用でき、子を持つ親の交流が図られる施設を増やした方がいいと思います。 ・家庭の格差により、子供の学力に差が出ないよう、子供の学力向上の支援ができる場を作ってほしい。 (獨協医科大学附属看護学校や、放送大学などとタイアップしてはどうか) ・温暖化防止の一助になるよう家庭・会社等の太陽光発電の助成金や、省エネエアコンの助成金をより拡充してほしい。 ・市内でヤードが目立って景観を著しく損ねていると思う。 仮囲いの銀色の鋼板が特に見栄えが悪いと思う。禁止してはどうかと思います。
6	1.安心かつ安全に暮すため、深夜のパトロールを強化して下さい。自転車、バイクや乗用車の盗難が多発しているため。 2.三郷市へ若い人々を移住させるため、家賃の補助をお願いします。 3.備蓄では、補助金ではなく現物支給をお願いします。
7	当町会高齢化が一気に進み、災害時の支援体制作りで苦慮している状況です。支援出来る若い人達の住宅が少ない現状です。 また、当地域調整地が多く空地はあるが住宅を建てられない状況です。 調整地の緩和策は出来ないのでしょうか？
8	意見なし
9	意見なし
10	○中央駅前の交通網について早期実施を ○大規模校区域での交通網の対策を ○倉庫誘致ばかりで雇用促進がされていない (きらりとひかる田園都市？)

11	○持続可能な拠点の形成→道づくりとありますが、持続するためには既存の道路の持続管理も重要です。 白線や横断歩道、止まれ、横断歩道あり等道路表示をしっかりと行い交通事故のない街を作っていきたい。 ○フルインター化(SIC)に伴う通過車両の誘導と道路整備、交通安全対策をしっかりと行って下さい。
12	急速に発展している三郷市、人口の増加もあり市民の車が混雑している。 特に朝夕の勤務時間帯は東京方面への車両が多く交通安全の大切さを痛感しています。心配な点は道路標示している横断歩道、止まれ等の白い線が消えかけ完全に消えている箇所が多く見られる。 本町会で特に危険を感じる道路は江戸川沿いの道路です。前述の通り東京方面への車が多く中にはスピードを出していく車も多く見られます。ガードレールはあちこち傷ついています。市民が歩こうとすると危なく立ち止まって車が去るのを待っています。夕方は車から歩行者が見えずらく、いつ死亡事故が発生してもおかしくない状況です。ぜひ、安全確保の施策をお願いしたい。
13	まちづくり方針6について 図書館3館は十分恵まれていると思います。図書館や各地区文化センター等で主催する各種イベント、市民に対しての周知が行き渡っていない様な気がします。もっとSNS等の活用を考えても良い様な気がします。 スポーツにおいては、野球等の団体だけではなく、個人がもっと気軽に参加出来る様な機会を作ってくれたらと思います。
14	意見なし
15	・災害への備えについて 住民の関心が少ないため困っています。もうちょっと市のほうでアプローチがほしい。(セミナーとか説明会等) ・道路について この工事がいつ終わるのかをもうちょっと宣伝してほしいし、いつ終わるのかわからないことが多い。
16	意見なし
17	防犯カメラの設置で抑止力になればと思う。事件事故の早期の解決や抑止力になる様に町内会の要所要所にカメラを設置してほしい。
18	災害への備え ・集中豪雨対策で雨水量／時間の見直しや豪雨がおきた場合の市民への周知方法の検討。
19	防犯カメラが少なすぎると思います。又、外灯も増してほしい。
20	防災、防犯に対応する設備の充実、特に防犯カメラや夜間灯の設置を強く要望
21	○水害にそなえるまち作りをもっと進めてほしい ○水路はすべてふたをしてほしい
22	※高齢者の為の交通手段について ・町内にバスの運行をお願いしたい。 ・公共施設等何もない
23	1救命救急について AEDは学校や大きな施設に設置されている為に市内において偏在が見立つ。密集している地域もあれば空白地域もある。AEDまでの距離が生死を分ける場合のあるのでバランスの取れた配置について行政の配慮や支援が必要などではないか。 経営方針 まちの魅力向上について 都県境の当地区は埼玉県及び三郷市の入口であり玄関であるので、第一印象として重要な立地なのではないか。三郷中央駅や北部の商業地域と比べ施策も手薄なのではないか。地域の特性を生かした魅力を再発見し、アピール出来るようにしていきたい。
24	意見なし
25	地域の防災力を向上を期待しています。
26	生活・街環境についての意見 早稲田地域と彦成地域との生活環境を比較しますと、圧倒的に早稲田地域の方が生活利便性が良かったです。三郷駅まで徒歩15分位ですし、食料品等の買い物などは徒歩数分、医療関係への通院も徒歩数分、外食等も徒歩数分で多種店を利用出来ます。それらを考えますと、武蔵野線三郷駅の開通に伴い、駅北部地域(早稲田1丁目～8丁目)、駅南部地域(三郷1丁目～3丁目)を、三郷市主導で区画整理事業をされました。そのおかげでの生活・街環境の良さだと痛感しています。 彦成地域は、今まで区画整理事業をされず現在に至っております。過去に彦成土地改良事業はされたと思いますが、これは農用地の利便性のうえでの事業だったと思います。昔ながらの住環境で、道路幅も狭く本数も少ないです。そして、市街化区域内用途地域も第1種低層住居専用地域に指定されておりしかも広範囲です。現在のような住居が建て込んだ状況下で区画整理事業は出来ないと思いますが、機会ある毎に道路幅を広げ、かつその道路沿いを奥行き数十メートルでの用途地域の緩和が必要だと考えます。そうすることで食料品ミニスーパーや、小売り商店等も出来てくると思います。いずれにしても、期間はかかりますね。これから高齢者が益々増加し、車が運転できないと(免許返納等)、ますます生活不便になり、通常より早く老人施設にお世話になる気がします。

27	・【災害への備えについて】および【地域力の醸成について】 東日本大震災以来、各地で地震や豪雨被害が起こっている。町内会の目的は、地域の親睦や防犯、環境保全等が挙げられるが、それらを突き詰めると大規模災害時の互助、共助に行きつくと考えている。 これまでに起きた大規模災害は局地的な災害であり、被災地への支援は日本全国から行われた。しかし、今後起こりうる東海・東南海・南海地震の三連動大地震や、東京湾での首都直下地震、それに富士山の噴火まで考慮すると、どれか一つでも大都市圏が壊滅的な被害を受けるため、国や地方自治体による公助は期待できない。 そのためにそれぞれの避難所が自立する必要がある。 また豪雨災害も増えており、2019年10月の台風と同等以上の豪雨では、利根川の決壊という最悪のケースも想定される。 現在の避難所は学校の体育館がベースだが、ハザードマップに基づく浸水水位を見ると、体育館では不十分である。 市内全域の海拔が2m程度の三郷市では、避難できる高所がほぼないため、校舎内や、屋上の使用を前提とした、避難所の運用に切り替えていく必要があるのではないか。 これらのことを考慮し、まずは各避難所へ、内閣府防災担当が掲げている【避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン】に基づき、住民50人あたり1基のマンホールトイレ(本管直結型)を整備していただけないだろうか。 そうした防災設備と、町内会・自主防災会で保有する防災資器材を利用して、町内会の祭などイベントを実施すれば、日頃から防災のための活動(資器材の動作確認や使い方の習熟、マンホールトイレ等の防災設備の設置訓練、避難所の運営など)につなげることができ、町内会の意義が正確に住民に伝わるものと考える。 ・【交通安全、防犯について】 ●●●町会のエリアは、自動車盗難の頻度が多いように思う。地域内で過去2年間で7件、発生しているようである。 町内会の域内に入る道路は限られているため、そこに防犯カメラとの設置と、その存在をアピールする看板を設置することはできないだろうか？ 町内に防犯カメラを設置するのは効率が悪いのと、監視されているようで拒否感が出るが、域内への入口道路であれば個人住居からある程度離れているため、防犯に効果的と考える。 また、域内に北中学校があるのと、小学校の主な通学先は立花小学校である。現在でも、三郷ICそばの西友の倉庫への荷下ろし待ちで、北中学校の生徒の通学時間帯、ルートと重なる場所に、交差点の横断歩道の至近や中央分離帯(ゼブラゾーン)までトラックが停車している。子どもたちが影になり、いつ事故が起きても不思議ではない状況である。 また、彦糸地区に建設が進んでいる新たな倉庫街が稼働を始めると、●●●町会周辺の道路のさらなるトラック停車の増加と、立花小学校への通学路へのトラック停車が増加することが想像できる。子どもたちが安全に、安心して通学できるよう、市内の道路でのトラックの荷下ろし待ち停車の禁止を徹底していただきたい。 地域住民やPTAでの対応は現状ですでに厳しく、さらなる負担の増加は組織、コミュニティの崩壊につながってしまうため、行政での対応をお願いしたい。
28	管理組合としての意見ではないが、構成員から次の提案があった。 廃校後の後谷小学校が避難場所として指定されているが、 ・ 稼動していない建物は有事の際にどこまで使えるのか、 ・ 教職員がいらないことによる運営人員の不足という事態が生じないか、 といった懸念がある。 そこで、旧後谷小学校を単純なコミュニティスペースとしてではなく、「防災」「避難」「自主運営」といったことを学ぶ開かれた場所にしてはどうかと考える。 先般実証実験が行われたキャンプ場の運営をされた方や、自主防災会・防災士会の方々といった有識者にご協力いただき、キャンプをするスキル・避難時に使えるスキルを学べ、人のつながりを育む、子供も大人も楽しみながら「生きる力」を身につける新たな施設である。 三郷市は、高速道路が多数通っているものの「通り過ぎる場所」という印象があると思われるが、三郷料金所スマートインターチェンジのフルインター化を機に、他にはあまりない施設として開設すれば、「市外から来てもらうアクション」、地域の活性化にも資すると思う。
29	私自身引っ越ししてきて日が浅いので特にございませんが、ただ正直、三郷駅前商店街は活力がなく魅力に欠ける印象です。(三郷中央や新三郷の方が充実しています) 早稲田団地は高齢者が多いので、もう少し日常使い出来る商店や生活しやすい環境になるといいなと感じています。
30	三郷市は調整区域が多く、農業の担い手もない為、その農地を廃材置き場や資材置き場に貸している場所が多いです。 その為、トラックやクレーンなどによる振動、騒音、道路の陥没、砂埃、労働者によるゴミの放置、そして鉄板塀を張り巡らせた醜悪な景観、四角による犯罪発生の実事と今後の危険性という、大変劣悪な環境で我慢している市民が沢山います。 また、住宅が建てられないので人が増えず、商業施設が増えず、バスの本数も少なく不便を強いられています！ まず、調整区域を市街化し人口を増やし、企業や学校、大学などを誘致し財源の確保と都市化を進めるべきだと思います。 少子化の日本の中で、選ばれる街になる為にはグズグズしている暇はありません！都心に近いという地の利を活かして、東京より広く、緑豊かで美しい街造りをお願いします。 それと南部は、北部にくらべて都市整備が大変遅れています。住民は、行政に対する不満と北部に対する怨嗟で爆発寸前です！是非、平等な政策をお願いします。
31	三郷流山橋が令和5年11月に開通したものの、流山橋の渋滞が緩和していないように感じます。 都市計画道路三郷流山線を早期に完成させて流山橋の渋滞を緩和できるよう要望します。 また、八潮地区、越谷地区、草加地区などへの交通利便性を高めるため、三郷流山線を東埼玉道路まで延伸できるよう、併せて要望します。 三郷駅周辺地区は住宅系の土地利用が多く、まちとしての魅力が乏しく感じます。まちとしての魅力を高める施策を行っていただくよう、要望します。

	災害に備えについて ●●●町会では、大雨の都度、町内数箇所かに道路浸水、床下床上浸水等を懸念する箇所がございます。 特に県道(ABSストアー前)、その南北の道路。令和6年1月に●●●町会柵渠蓋掛けに関する要望書を提出いたしておりますので、その早期実現を、お願いしたく存じます。 交通安全、防犯について 町内でも回覧などでの交通安全や特殊詐欺防止の啓蒙活動を進めておりますが、より一層の取締りや啓蒙活動をお願いいたします。 その他まちの安全について 訪問販売や屋根の修繕のような飛び込み修繕等の規制・罰則の条例を強くして頂きたいと存じます。
32	こどもの学習、教育について 何よりも子供達の学習意欲や能力のレベルアップは、今後の社会の資産となりますので、引き続きご尽力お願い申し上げます。 まちの景観について 財政も大変なのは承知しておりますが、街路樹や道路脇の雑草等の繁茂やこの時期だと枯葉がかなり目立ちます。 街の顔と言える駅前は特にいつも綺麗にしてほしいと存じます。 市の行政基盤の強化について 三郷市のふるさと納税の返礼品の充実をはかり(質や種類の向上、アトラクシヨンのなもの導入等)、三郷市へのふるさと納税寄附金額の増加を期待致します。 以上となります。
33	南部地域拠点防災コミュニティ施設整備事業の中で、市民の防災減災意識の啓発を推進し、自然災害など有事の際の行動について学ぶことができる施設を計画とある。 ●●●町会を初め多くの町会では毎年、松戸市にある千葉県西部防災センターで、代表が参加して体験的に学習を行っている。そこと同等かそれ以上の機能を備えた防災コミュニティ施設が市内にあれば、団体や個人が市内で防災を体験的に学べるようになる。 計画に沿った整備事業になると思うので、ぜひご検討ください。
34	災害:避難所の備蓄や運営規則に関心を持たせる方策は？ 防犯:自転車泥棒が数回発生し、不安を感じる方が多い。 道路:新三郷駅前の土日の渋滞解消を工夫願いたい。 水道:老朽化問題への対応、現状の維持保全に注力願う。 介護:当管理組合にも独居高齢者が多数居住し、今後更に増加が見込まれるため、どのような対応を策定されるのか？ 外国人:「自国の習慣」ではなく、「日本のルール」(ゴミや騒音)を理解遵守させる方策がないだろうか。 外国人子女の教育や学童保育の充実願いたい。
35	南部地域拠点整備基本計画の交通拠点機能について、実現を疑問視する声を多く聞きますが、計画地内中央の道路完成後の具体的な計画的を早急に提示してください。 避難所運営委員会の活動が停滞しているので、早急に再開をお願いします。南中学校は避難訓練後、数年経っています。鷹野小学校は会議を一回開催しただけです。
36	・災害への備えについて 当町会は災害時の避難場所は彦成小学校になっていますが、どの位の避難者を想定しているのか。又、それにあうだけの備蓄品があるのか、各町会はわからない状況だと思います。 町会の備蓄品も大した物は無い状況です。 避難所の組織についても10年位前に組織されたようですが現在は、機能していません。各地で色々な災害が起きていますので、何らかの対応をお願いします。
37	田園都市みさとの景観が物流関連施設の建設ラッシュで薄れていると思われるが、自然環境施設の公園等の整備をどの程度計画に盛り込むのかお尋ねしたい。
38	三郷中央駅に快速が止まるようにしてほしい。 子供達のスポーツ教室を少額または無償で開いてほしい。
39	八条橋の老朽化 架替えの予定 八条橋吉越橋の間に橋が無いので是非検討して下さい。
40	1 災害に強い町作り 2 後続く人への育成 3 町作りは、道路の整備 4 魅力ある町は、スポーツ及び文化の豊かであること。
41	交通安全、防犯について 市内に多くの不完全な信号機が在るのを改善し、安全な交通の確保を目指して欲しい。 又、昨今の強盗事件に鑑み、より一層の防犯対策を講じる事も後期計画の目標として欲しい。 子供の学習、教育について 新和小、幸房小は現在学習面は充実しているが、マンモス校の弊害も出て来ている。 又、学校区の問題から町会内の分断が進むので、地域と通学区の整合性を考えた政策を進める事を入れ込んで欲しい。 道路について 未舗装道路の解消を目指して欲しい。都市化が進んだ現在でも未舗装道路が残っている。 スポーツについて 現在球技を出来る公園がないが、インクルーシブ公園を整備した様に、サッカー、野球等ボール遊びのできる公園が整備された三郷市を目標にし市のPRに使用されたい。 まちの魅了向上について 中央地区では、区画整理後地域の有志でまちの魅力アップの為、行政と共に歩んで来た事により、現在、若い層から、中央に住んで良かったとの感想が聞かれるようになった。 まちは整備されて10年は自然に発展成長するが、放って置くと衰退し出すことが多い。その為、行政と地域が協働する事により魅力が向上するのでは無いか。 行政の職員が、当該地域の事を全て判ることはないので、最終決定する前に地域との擦り合わせを、目標にして頂きたい。

42	1.市助橋と水道橋の2箇所人横断歩道または、手押しボタン式信号機をつけて欲しい。死亡事故も起きていて危険である。 2.市助138番地、137番地にある倉庫の北側にある用水に蓋をして暗渠にして欲しい。環境衛生や安全面からもお願いします。
43	これからも子供達が安心・安全に暮らせる三郷市を！
44	市では、三郷駅周辺から江戸川の船着き場エリア付近の活性化を思案しているかと思いますが、多くの市民を河川敷に呼び込むにあたり、カスミストア側から、堤防に上がる階段と土手下の県道に横断歩道がありますが、この道路は車両の通過が多く、速度もとばしている車が多く、特に子供や高齢者の横断は、危険性が高いので、手押しの信号機の設置などの安全策を講じるなどが必要と思います。千葉県の実例の八街の交通事故のように事故があってから、対策を考えるのでは、後手、後手になってしまいます。安全策優先の対応をお願いいたします。
45	自主防災組織はありますが… 活動事態は特にしてません。 避難場所で(小学校等)、自治会として何が出来るのか？ ご指導をお願いしたいと思います。 市役所までの交通手段 小型バスの運行を是非、お願いしたいと思います。
46	まちづくり方針 5 5-2-2「魅力ある観光の振興について」 前期基本計画をベースに以下意見を記入させていただきます。 【現状・課題】 ・本市における観光分野における特色 観光においては他の地域との差別化は重要な要素であり、自然、文化、スポーツ、体験、景観、食等多岐にわたる市ならではの特色の発掘及び創出、またこれらに関するブランド化は継続的に最重要課題と考えられます。 また、これらの特色を観光振興に結び付けるためには、取り組みにおける持続可能性、推進する担い手となる組織・団体、発想性などの要素を併せて考える必要があると考えられます。 ・大型商業施設 つくばエクスプレスの開通、ピアラシティみさと、新三郷ららシティへの大型商業施設が進出してからそれぞれ10～20年以上が経過しました。このことは三郷市の特色として定着したものと考えられます。 この条件をどのように観光のさらなる振興と結び付けていくという次のステップの段階となっていくものと考えられます。 ・インバウンド 都市型観光を含め一般的に、観光振興において、「インバウンド対応」は重要な要素となっています。一定数の需要が見込まれるなか課題も多く、交通、公共施設・ハードウェア運営、市民意識の醸成など本市における国際化の推進と同時並行的に取り組む必要があると考えられます。 ・観光振興に係る推進力 市や関連機関、民間団体、事業者、市民すべてが観光振興における推進力になりえると考えられます。アイデアを形にするため、その内容に応じてこれらを有機的に結びつける仕組み・役割を担う核となる団体・組織への支援の必要性は高いものと考えられます。 ・シビックプライド 観光振興の目的の1つとして住民満足度の向上も含まれると考えます。 いわゆる地域愛、シビックプライドの醸成ですが、事業を実施している中で、地域愛、本市に居住していることを誇らしく思う市民の方が非常に多いという実感があります。 直接的ではないものの、地域愛・シビックプライドの醸成は観光振興を推し進める中で、事業展開や情報発信における重要な成功要素となりえると考えられます。 ・情報発信 観光分野における訪問動機決定のプロセスの中では、従来の紙媒体情報も一定の需要があるものの、特に若年層においてネット情報にシフトしていることが実感できます。 現在は主要な情報取得方法の過渡期であり、世代において主要な取得方法が異なる特異性があることを認識したうえで様々なプラットフォームを活用しての観光情報の発信を積極的に行うべきと考えます。 【施策について】 現状、課題を踏まえ施策については以下の4つが大きな柱となりうるのではと考えます。 ・地域観光資源の発掘、創出及びブランド化 ・観光情報の発信 ・上記、2つの取り組み、及び取り組みを行う主体に対する奨励、支援 ・地域愛・シビックプライドの醸成 以上雑多で申し訳ありませんが提出させていただきます。
47	特にありません
48	三郷市の農業振興について、農業者の所得向上につながる政策がはっきりしない。 三郷市の街づくりに関して、似たようなデザイン。三郷市の特色が皆無で魅力が感じられない。
49	・交通網については、市内環バスは、日中であっても15分の1本の割合で運行してないとバスで買物に行くという事が難しいと考えます。よって、高齢者の運転免許返還も難しいと考えます。 ・市内には、調整池が結構あるので青少年が使用出来る施設(スケートボード)等があると良いと思う。 ・道路については、白線(センターラインや横断歩道)等の線が薄くなっているところや、消えて見えなくなっている所があるので危ないと考えます。また、街をきれいに见せる為にも道路のラインは大切です。
50	外国人が多くなってきましたので交流を深めお互いに笑顔あふれる三郷市になればと期待しています。
51	子育てしやすいまちづくり ・親子で集える場所を増やす (歩いて集える場所) ・三世代交流できる場所を作る (高齢者にとっても、子育て世代にとっても、子供にとっても必要な場所) ・早稲田地区に市民の集える場所を作ってほしい (他地区に比べ少ない。使用料は安価にしてほしい)

52	大場川沿い道路について バス停を降りて歩道がないのは危険である。ガードレールも途中で無いとか、狭くなっていたりで車道を通る事になる箇所があり危険である。 交通事故のない町作りを期待したい。
53	当会としては三郷市民のために様々な医療活動を行政や多職種と連携を図りながら取り組んでいます。特に高齢化に伴い在宅医療介護などについては、限られた人材で効率よく取り組めるよう進めていただきたい。今後は老老介護、老障介護などもますます増えてくると思うので、地域ぐるみの取り組みなどもさらに必要になると考えます。
54	・方針1について 災害への備えについて、私たちの会は災害への備えとして家庭での食品のストック、食事作りを主に講座を開いています。くり返し必要なことと考えます。 ・方針2について 子供の健康について、親子料理教室への支援や若者世代への食の安全等講座開催を通して交流していきたいと考えています。 ・方針6について 市民の学習について、世代(子供、若者、高齢者)を通して食への健康的な学習を働きかけていきます(地域全体に対して) ・方針5について 商工農業・産業全般について、地域の特産野菜や果物を普及するために積極的に料理講習会に取り上げています。毎年必ず利用していますが人気あり。 ・方針7について 会として市の健診事業に「朝ごはん」推進事業として試食の提供を続けています。大変好評を得ています。やりがいのある活動と思っています。
55	○まちづくり方針1 救命救急…かつてお世話になった事があるが、迅速に対応していただいて感謝しているが、市にはこれ！といった病院がなく松戸、越谷に多くの人が通院し、リハビリを受けている。(特に心臓・整形外科)この現状を何とかしていただきたい ○まちづくり方針4 交通網について…バスの本数が年々減ってきて、高齢者の人は非常に困っている。 又、運転免許証を返納された方も多い。特に戸ヶ崎方面は三郷に来るのが大変と聞く。「くるとバス」の様に地域と病院とスーパーなどをまわるバスがあっても良いのではと考えたことがある。※総合体育館でイベントがある時は中央駅、三郷駅などからピストン輸送をしていただきたい。 ○まちづくり方針7 介護、障がい、健康に関する支援について…●●●で健康支援の一端にかかわらせていただいています。 無料にて運動ができることで人気があるとは思いますが、参加年齢の幅が広く運動強度について難しい局面があります。 もう少し年齢の幅を狭めての募集が良いのでは…と感じます。 ○会場まで行くことのできない方をどうフォローしていくかも重要な課題ではないかと思います。例えば、YouTubeにあげた内容のCDを持参し講習会を行いその地区リーダーをつくり、小さなコミュニティでラジオ体操元気塾のCDを見ながら運動をする等 ○その他福祉全般について…いろいろな活動の場から地域包括センターへの道標があると良いと思います。 包括センターの敷居は一般の高齢者には高いかと思われます。ここに連絡して相談してごらんとすぐ電話番号を渡せる様な状況があれば困っている高齢者は助かるのではないのでしょうか？
56	1. ○人との交流、三郷市関連のイベントへの参加、病院、買い物、外出などの交通機関の利便性を早急に図る。 ○外環道298号線の西側に位置する区域では、防音壁の影響による物なのか防災無線が聞き取れない。高齢者には、スマホによる伝達は不得手である。 2. 小学生(低学年)下校時の安心安全の体制について策を講じる 3. これから先、増えてくるであろう空き家については、若い人たちに安価で貸し出しを図り周辺の交通の便を良くする。 4. 歩道の狭い箇所があり、通学路としての危険性もある。自転車同士のすれ違いに危険な思いをする。 5. 市内企業の業種を広布し、求職の指標とする。 6. 文化祭など市関連のそれぞれのイベントに参加を図るには、会場へ向かう為の利便性を図る。 7. ○各地域にある包括センターの事業内容が市民に把握されていない。 ○旧来のタクシー券の再発行か代替案を図る。
57	第5次三郷市総合計画後期基本計画におきましても、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づきました、施策を計画に位置付け、推進を図っていただきたいと思います。 また、同法に基づきます地域高齢者就業機会確保計画の策定を検討いただき、地域実情に合った高齢者の就業の機会を、様々な機関と協議いただいた中で、拡充いただけたらと思います。 高齢化が進んでも、就労意欲があり元気な高齢者の割合が多ければ、医療費や介護費の抑制にもつながるものと思います。 ●●●におきましても、高齢者の社会参加を推進し高齢者の福祉の増進に資する事業を進め、市の施策推進の一助となるよう努めてまいりますので、引き続きご支援ご鞭撻をいただければと存じます。
58	「三郷市で働きたい!」という介護人材を増やして行かなければ、このままでは三郷市の介護保険サービスは破綻しますし、その日もそう遠くないように思います。今回私がお伝えした事が三郷市の介護保険サービスを取り巻く問題の一部に過ぎません。ですが、介護人材の確保は急務であり、三郷市の隣接地域との格差は明らかです。懇談会等で幾度となく行政にお伝えして来ているように、三郷市独自の『介護職員等特別手当』や『5級地変更』は早急に導入が必要です!! 今年、これまでcv懇談会等で提案をしてきた【介護職員永年勤続表彰】が執り行われました。その件についてはようやく提案を受け入れられたと嬉しく思っている次第ですが、表彰のみで提案した“金一封贈呈”は行われませんでした。職場の人間関係や、賃金の低さから転職を繰り返してしまう現状はそう簡単には打破出来ないと思いますが、三郷市でトータル10年・20年介護職員として勤続した者に“金一封”を贈る位の技量が我が市に必要なのではないのでしょうか。 介護支援専門員(ケアマネ)に関しては数年に1度、資格更新研修を受講し続けなければならない職種です。費用も5万円前後と高額で、埼玉県は1万円助成(費用値引きが行われる)されますが残りの費用を三郷市が負担するなどの対応があると働きやすくなる様に思います。 「三郷市で介護職として働きたい!」と思う方が増えれば、介護保険サービスを利用する高齢者の満足度・ADL・QOLはおのずと向上します。それはその方々を支えるご家族をはじめとする支援者の満足度向上にも繋がります。それにより安心して任す事の出来る介護事業所が増えることで、介護離職や孤独死の減少に繋がることでしょう。 それらの好循環が結果的に三郷市の介護保険財政の予算減にも繋がる可能性があります。目先の支出増に着目するのではなく、好循環で生れるランニングコストの削減を目指して頂けたらと切に願っている次第であります。 三郷に生まれ育った身として、非力ながら三郷市で暮らす市民の生活の質の向上に一役を担えたらと思っています。今後とも何卒よろしくお願い致します。 その他 1.災害対策→三郷市の災害対策について、個別計画や福祉避難所の充実を求めます。 2.ごみ出し支援→ごみ出しの支援制度の導入をぜひお願いしたいです。 3.マイナンバーカード受取の柔軟対応→認知症の方の受け取りには配慮をいただきたいです。 4.年金の物価スライドによる影響→利用者の年金が物価スライドで増額され負担区分が変更されるため、所得基準も物価に合わせた引き上げを求めます。 5.行政職員の対応力向上→行政職員の数年での移動に伴う、毎年発生する対応力低下を食い止める為に、福祉行政に長年携わる専門性あふれる職員を育成して欲しい。 ※その他、詳細資料あり

59	(1)まちづくり方針1 〈災害への備えについて〉 市内の諸団体の参加による定期的な訓練が重要なことと思います。定期的な訓練を行うことにより、各団体が自らの役割を認識できるようになると思います。 (2)まちづくり方針2 〈子育て支援、こどもの健康について〉 子どもたちの居場所が中央地区(主に幸房小学校区)には不足しているように思いますので、児童センター・交流センターなどの設置をお願いいたします。また、放課後児童クラブにつきましても、希望者の全員が入れるように施設の強化をしていただきたいと思います。 (3)まちづくり方針4 〈交通網について〉 高齢により免許返納者が増加する中、市内各地から市役所や病院への公共交通網はますます重要になりますので、公共交通網の維持・整備をお願いいたします。 (4)まちづくり方針7 〈その他、福祉全般について〉 ①地域共生社会の実現に向けて 全国的に言えることですが、地域共生社会を目指している割には、その進み具合が市民には見えない状況です。目標ポイントを細分化することによるフェーズドアプローチが必要と思います。 ②民生委員・児童委員の市民へのアピール 民生委員・児童委員は、行政と住民を繋ぐ役割を担っていますが、近年、欠員が増加傾向にあり、その役割を十分に果たせなくなりつつあります。市民に民生委員・児童委員のことを知っていただくことが第一歩となりますので、市の広報による定期的なアピールをお願いいたします。
60	・防犯のための見回りの強化をしてほしい。(まちづくり方針1) ・災害時の避難について(まちづくり方針1) 避難経路や近所にどんな人いるのか共有できていないのでその仕組みづくり ・バスの運行について(まちづくり方針4) 終バスをもっと遅くまで運行してもらえないか バスの本数が少なすぎる 早稲田、彦成方面でバスの運行がないのでなんとかしてほしい 75歳以上の高齢者に対してバスのフリーバスを導入してほしい ・駅周辺の施設について(経営方針2:まちの魅力向上について) 三郷駅、三郷中央駅周辺に飲食店が少ないので誘致することはできないのか
61	いつも当会の活動にご協力、ご理解をいただきありがとうございます。 いつも様々な課題に取り組んでいただいていることは十分承知しておりますが、三郷市が障がいを持った方々にとって暮らしやすい場所になるように今後とも活動をし、当事者や家族の声を市政に伝えてゆきたいと思います。 防災への備えについては、福祉避難所が指定されていますが、限られた方々しか使えないようです。今後民間の事業所も指定されるようにしてください。支援物資の配布などの対象としてください。また、普段から防災の取り組みを地域と一緒に作れるように、防災訓練の情報を福祉施設にも開示してください。一緒に地域の一員として参加できるように情報を開示して下さい。また普段からの備えとして、障がい福祉課を中心とした連絡網の整備や、通報訓練などを実施してください。 子供の学習、教育については、身体障害のある子供達も、そのほかの障害がある子達が地域の学校に通るように環境を整備してってください。また遠方の支援学級に行く際も保護者の負担軽減を図ってください。 引きこもりや不登校が増えていると聞きます。様々な状況にある子供たちへの学びの機会の提供をしてください。オンライン授業を取り入れたり、してください。 市民の雇用、就労については、障害者の収入はとても低く、それゆえに親から自立出来ずにいつまでも自宅で暮らす方が多いです。障害者の就労先の開拓や雇用を市としても供給取り組んでください。また、短時間の労働や在宅での労働などさまざまな働き方についても開拓に取り組んでください。 介護、障がい、健康に関する支援については、障がい者は一般雇用されない方が多く、健康診断を受ける機会が少ないため、病気が進行してしまうことがあります。健康診断を通所事業所の持ち出し費用とせず、市として健康診断の環境整備をして頂きたいです。 その他福祉全般については、障害者権利条約が謳っている「当事者抜きに決めない」「当事者の参加」を進めてください。

62	昨今の大地震・台風やゲリラ豪雨・突風など温暖化による異常気象による自然災害に伴う市街地での道路水道下水道などのインフラ設備崩壊の都市災害がいつ起こるかわからない状況だと思われます。引き続き持続可能な拠点の整備をお願いします。 例えば、 ・新設道路網の整備（緊急避難道路網） ・現状及び新設道路の定期的な点検整備メンテナンス ・上下水道の新設及び耐震化への取り換え ・地下深度の深い旧下水道管の耐震化整備 ・緊急時の避難場所（学校公園その他施設）の点検整備メンテナンス ・緊急時に三郷市と連携できる関係協会や団体・会社など締結関係の調査確認見直しなど、いざという時の準備役割や訓練を官民協力して行える様に進めてもらいたい ●●●は東日本震災の時に携帯電話がつかない状況でも会員各社連系の元、避難場所への畳運びや道路整備を行いました。 数年前に起きた三郷市での突風災害による早期復旧。 又、日頃から交通事故で破損した道路やガードレールなどの早期復旧。 冬場では除雪や夜間での橋梁などに塩化カルシウム散布など。 建設業ですが市民の安全を守る役割もしています。 しかし昨今の人手不足や建設業への魅力が無く、緊急時の人員不足に悩んでいます。出来れば三郷市主導の元、他の関係協会や団体や会社も協力して頂きたいと願っています。 いざという時のために。
63	特になし
64	●●●では、日頃から防火防災に努めているところですが、まちづくり方針1として、三駅広報を年間二回実施し、市民に対して防災意識への向上を図っております。また、消防フェアや三郷市総合防災訓練にも積極的に参加して地域の防災力の強化に努めています。
65	交通安全 防犯まち安全について 最近、闇バイトや無差別殺傷事件が多発しています。特に北九州市小倉区の中学生の事件は悲惨だと思いました。 その反面、容疑者逮捕の決め手となったのが防犯カメラとドライブレコーダーの解析でした。特に防犯カメラの効果は非常に大きいと感じました。 三郷市内においても防犯カメラの重要性を考慮して、市民が安心して生活を送れるように徐々に設置をしていったらどうでしょうか。防犯カメラの重要な設置場所を調査して計画的に増設してみては。
66	・【交通安全、防犯について】および【まちの景観について】 「きらりとひかる田園都市みさと」という都市像を掲げているが、現実には起きていることは田畑を潰して倉庫が乱立する街となっている。流山市のように、そもそも人口が少ないエリアへの大規模倉庫群であればわかるが、さつき平、彦糸地区、ピアラシティについては、住宅街の中や、住宅街どうしの間のエリアに倉庫が進出している。 ピアラシティエリアについては、北中学校の生徒が通学するルート、時間帯に、倉庫への荷下ろし待ちのトラックが路肩、中央分離帯、しかも交差点の近傍までずらりと並んでいる。 生徒からも、通行する車からお互いを視認しずらく、いつ事故が起きてもおかしくない状況である。 さらに彦郷小、彦糸小、彦糸中の通学区については、通学路を分断するかのように倉庫街の建設が進んでいる。 ピアラシティエリアで起きていることから考えるに、同じ問題が起きることが想像される。 三郷吉川線は交通量も多く、中学生だけでなく小学生も通学することを鑑みると、路上での荷下ろし待ちの禁止を徹底していただきたい。またこのエリアで禁止すると、三郷IC至近のピアラシティエリアが待機所となることが容易に想像できるため、市内全域で、荷下ろし待ちの禁止を徹底していただきたい。 きらりとひかる田園の中を通学していた三郷の子どもたちが、倉庫の中を事故の危険と隣り合わせで通学するようになるのは子育て環境としていかがなものか。 通学の安全の確保に、さらなるPTAへの協力を求めるのは現実的に難しいことをご承知おきいただきたい。 ・【こどもの学習、教育について】 キャリア教育が行われているが、先日、県教育委員会が了承、公表した「魅力ある県立高校づくりの方針」案をはじめ、将来の職業を意識した高校選びが必要になってくる方向が示されている。現在、中学校で行われているキャリア教育は、3Daysと称した職場体験だが、実際の中身を鑑みると、パートタイマーの体験などや、個人事業主の体験などが多いように思う。大多数は企業に就職し、働くことを鑑みると、それでは不十分ではないか。 例えば、商工会や市内の企業の協力を経て、どんな会社があるか、そこではどんな仕事があるか、三郷市の各企業の強みは何か、など知るためのワークショップのような取組をすれば、三郷市の子どもが地元の企業を知り、地元にも働く選択肢があることを知ることができる。そうすれば地元企業も地元の子どもたちに興味を持ってもらえる、Win-Winの関係が築けると考える。 ・【読書について】 「日本一の読書のまち」を掲げているが、学校で実際に行われていることは、読書をした冊数（自己申告）を競わせる例が多いように思う。読書とは本来、一冊の本について、それこそ行間をさまようように味わい尽くすべきではないか。 時折行われているビブリオバトルはとてもいい取組である。他人に一冊の本を紹介し、選んでもらうためには、その本について愛着と熟読が必要であり、そういった読書活動こそが「日本一の読書のまち」にふさわしいと考える。 学校対抗にすると教職員の負担が増加してしまうが、市を挙げて、老若男女を問わず盛り上がるビブリオバトルのような催しができるような読書活動を推進してはいいかがか。 ・【地域力の醸成について】 ここでいう「地域力」の定義がなんなのか、正確なところがわからないが、市内全校にコミュニティスクールが適用されることから、地域、学校、PTAの関係をより密にしていく必要があると考える。 地域で子どもを育てる、というのが、現状では町内会もPTAも存続の危機にある。中学校の学校選択制により、学校によっては半数以上が域外から通学しており、その状態で「日頃お世話になっている地域のために」といっても、まったく説得力がない状態である。 理想としては、8中学校区を中心として、小学校区、町内会の区割りを重複がないように整備することはできないだろうか。（流山市は中学校区に対して小学校区がほぼきれいに整理されている） これまでのしがらみがあり、難しいとは思いますが、そんなことを言っていると学校、地域がもたない状態が近づいているように感じる。 学区の編成の検討も進んでいるはずなので、この機に未来志向で大ナタをふるってほしい。
67	第5次三郷市総合計画前期基本計画重点テーマ③にもあります 「妊婦から子育てまで切れ目のない支援」 1. 先進的な自治体を参考にして働きながら子育てのしやすい三郷市を目指してほしい。 2. 待機児童ゼロを目標に施設を増やしているが、希望に近い保育園に通わせることは難しいようです。 3. 保育料の費用が子育て家庭に大きな負担になっている。 「子どもの居場所づくり」 1. 市内各町会や自治会の公民館等を利用して、高齢者や子ども達が気軽に集う場所の提供。 2. 市内の児童生徒の約1/3は中央駅周辺に集まっていることから、児童館等の施設が必要と考えます。
68	子どもを取り巻く地域での取り組みが希薄になっており、犯罪等に巻き込まれる恐れも生じている。市として具体的な計画を策定して解決してもらいたい。
69	私達は読書ボランティアですが、対象子ども（未就学児～中学生）と言うのが多いですが、年配向けや、違う対象への活動があっても良いかなと思います。 沢山のグループが活動している三郷市ならではの、学校中心の若い世代から卒業生の父兄がそのまま続けているなど、巾広い方々がいらっしゃるので、今までにない形での活動も模索してみたいです。